



学習の記録個票で成績確認を

1年生からの成績（学年末の成績です）を懇談時に配布する「学習の記録個票」に載せていますので、必ず確認をお願いします（「3学年1学期」の値は学期末の通知表で示します）。この成績表には現在の持ち点が記載されています。計算式については以下のとおりとなっていますので、参考にしてください。

（成績例）

3年7組1番 東香里 太郎

	国	社	数	理	音	美	保体	技家	英	5計	9計
1学年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	15	27
2学年	3	4	3	3	3	4	3	3	4	17	30
3学年1学期	4	5	3	4	3	4	4	3	5	21	35
2学期 （私立用・公立特別選抜用）	3年生1学期と2学期の通算成績										
3学期（公立一般選抜用）	3年生学年末（1～3学期通算）の成績										

公立高校一般入試 評定のタイプ別点数

	I (270)	II (360)	III (450)	IV (540)
1学期	194	259	324	389
2学期	3年生1学期・2学期通算の成績から算出			
3学期	3年生学年末（1～3学期通算）の成績から算出			

※受験する学校によって、評定のタイプが変わります。

※()の中は満点の点数です。

～タイプ別点数算出例～

上記の（成績例）より、

1年 9教科計 27

2年 9教科計 30

3年 9教科計 35の場合

$27 \times 2 + 30 \times 2 + 35 \times 6 = 324$

I $\cdots 324 \times 0.6 = 194$

II $\cdots 324 \times 0.8 = 259$

III $\cdots 324 \times 1.0 = 324$

IV $\cdots 324 \times 1.2 = 389$

自分で学校に行ってみよう

進学希望の学校には必ず一度、自分一人で行ってみましょう。意外に思う人もいるかも知れませんが、一度も見に行っただけの無い学校を受験し、通っている先輩は0ではありません。

平岡の高校選択の話をしさせてもらいます。平岡は公立のA高校とB高校（A高校の方が入試問題が難しい）のどちらかを併願受験しようと悩んでいました。自分の勉強に対する力からするとA高校は、「合格できる可能性はまあまああると思うけど、入学してからは授業についていくのは苦勞すると思う」学校、B高校は「十分合格できる可能性はあると思うし、入学してからも割と余裕をもって授業についていけると思う」学校、というように当時の担任の先生にアドバイスされました。結局平岡は余裕をもって学校生活を過ごしたいと思い、B高校を受験し、合格しました。高校生活の3年間を振り返ると勉強の面で大きな苦勞をすることなく、その他の学校生活もそこそこ充実して過ごせたので結果的に良かったのですが、1つだけ大きな後悔がありました。それは、「通学の大変さ」です。簡単に言うと、高校に行くまでにとてつもない勾配・距離の坂がある故の大変さです。イメージでいうと、東香里中学校の校門を出て右に向かってカレー屋まで続く坂の、距離が2倍、勾配が4倍くらいの坂です。そんな坂を、雨の日も暑い夏の日も毎日毎日3年間上り続けました。平岡は願書を持っていく（3月）まで、B高校に行ったことがないまま、受験先として決めてしまいました。もしこの坂の辛さを事前に知っていたら、受験先をB高校にしていなかった可能性は大いにあります・・・。

何をもって進路先を決めるかは人によって様々だと思います。ただ、進学してから「思ってたのと違った！」となることはできるだけ避けてほしいと思うので、高校についてたくさん調べて、この夏の間に実際行ってみることを強く勧めます。

学校を知ろう

入学してから「思ってたのと違う！」では遅いです。一度は実際に行くべし。

自分1人で学校に行ってみよう

受験当日は友達も保護者の方も付いてきてくれるわけではありません。行き方を身につけておくべし。

公共交通機関を使おう

自転車を受験校には行けません。電車やバスの時間や料金・通る道等の情報を身につけておくべし。